

西洋建築史
試験問題

中島智章

1.次の問いに答えて、要求されたイラストを描け。 配点:10点

古典主義建築の5種類のオーダーを太い方から順に述べよ。また、コリント式オーダー略図を地面から軒先まで描き、そこにエンタブレチュアを形成する三つの帯の名とコラムを形成する三つの要素の名を書入れよ。

5種類のオーダー 1)
4)

2)
5)

3)

配点:すべて正解して3点

コリント式オーダー略図

配点:イラスト3点(上=3点、中=2点、下=1点、なし=0点)

エンタブレチュアを形成する三つの帯の名 すべて正解して2点

コラムを形成する三つの要素の名 すべて正解して2点

2.次の建築作品・著作の施主または作者を右の3群の中から選び、解答欄に数字で記入せよ。 配点:15問×3点=45点

- 01) サンドゥニ修道院聖堂(パリ北郊) ルイ7世とシュジェール ルイ9世とスゲリウス ルイ14世とマテュー・ダラス
 02) リエージュの環状配置要塞群 ヴォーバン元帥 ナポレオン1世 アンリ・アレクシス・ブリアモン
 03) サント・スピリット聖堂(フィレンツェ) フィリッポ・ブルネッレスキ ガッリーノ・ガッリーニ アンドレア・ポッツォ
 04) テンピエット(ローマ) フィリッポ・ブルネッレスキ レオン・パッティスタ・アルベルティ ドナト・ブラマンテ
 05) イル・ジェズ聖堂(ローマ) フィリッポ・ブルネッレスキ ジャコモ・バロツィ・ダ・ヴィニョーラ ドナト・ブラマンテ
 06) ルーヴル宮殿クール・カレ西棟 フランチェスコ・プリマティッチョ ピエール・レスコ フランソワ・マンサール
 07) マウリッツハイス(デン・ハーフ) ヤコブ・ファン・カンペン ミヒール・デ・ロイテル メンノ・ファン・クーホールン
 08) サン・ピエトロ大聖堂クーポラ(ローマ) ミケランジェロ・ブオナローティ アンドレア・パラディオ ガッリーノ・ガッリーニ
 09) サンタニェーゼ聖堂(ローマ) フランチェスコ・ボッロミーニ ガッリーノ・ガッリーニ アンドレア・ポッツォ
 10) ヴェルツブルク司教宮殿 フランソワ・マンサール ジュール・アルドゥアン＝マンサール ヨハン・バルタザー・ノイマン
 11) アマーリエンブルク離宮(ミュンヘン) フィリベール・ドゥ・ロルム ロベール・ドゥ・コット フランソワ・ドゥ・キューヴィエ
 12) サン・ドゥニ門(パリ) ニコラ・フランソワ・ブロンデル マルカントワーヌ・ロージェ ル・コルビュジエ
 13) リュクスンブルク宮殿 セバステアーン・セルリオ サロモン・ドゥ・プロス ジュール・アルドゥアン＝マンサール
 14) シャウシュピールハウス(ベルリン) ヨハン・バルタザー・ノイマン カール・フリードリヒ・シンケル フリードリヒ・ジリー
 15) プレニム宮殿付属庭園 イニゴ・ジョーンズ インディアナ・ジョーンズ ランスロット・ブラウン

- 01) 02) 03) 04) 05) 06) 07) 08) 09) 10) 11) 12) 13) 14) 15)

3.次の文章中の空欄を適切に埋める名詞を解答欄に記入せよ。 配点:15問×3点=45点

- 1)のa)、2)のa)、b)は古典表記に基づくカタカナ、その他は漢字か現代語発音に近いカタカナ表記。それ以外は0点。
 3)~5)の人名はフルネームで記すこと。名字のみは1点。個人名のみは0点。アルファベット表記は0点。

- 1) 現存する古代唯一の建築書『建築十書』を表した(a)によると、古代神殿の平面形式は、神室と柱の関係によって次の7種に分類される。すなわち、イン・アンティス式、プロステュロス=(b)式、アンフィプロステュロス=両(b)式、ペリプテロス=(c)式、プセウドディプテロス=擬二重(c)式、ディプテロス=二重(c)式、露天式である。 a) b) c)
- 2) 東ローマ帝国は6世紀前半の(a)大帝の頃に最盛期を迎え、首都(b)にはハギア・ソフィア大聖堂が建立された。この大聖堂は帝国の威信をかけて建造され、世界最大の煉瓦造建築であるにもかかわらず、わずか5年で完成した。そこでは正方形平面の上にクーポラを架けるために、(c)・ドームと呼ばれる構造上の工夫が凝らされている。 a) b) c)
- 3) ミラノのサンタ・マリア・ナシェンテ大司教座聖堂はイタリアでは珍しいフランス風(a)様式による。これはフランス人石工棟梁(b)が指導したためである。このように、当時の石工たちはヨーロッパ中を遍歴し、各地に(a)建築を伝えていった。現存する唯一の中世建築画帳を残した(c)もそのような石工たちの一人だった。 a) b) c)
- 4) ルイ14世時代のフランスの国王付首席建築家(a)はフランス建築史上、最もローマ・バロック建築に近づいた建築家である。ヴェルサイユ宮殿の先駆けといわれるニコラ・フーケ財務卿の居城(b)城館や、マザラン枢機卿の遺志により設立されたコレージュ・ドゥ・キャトル・ナシオン=(c)学院はその代表作である。 a) b) c)
- 5) ドリス式はギリシアとローマで違いがあり、後者の方がより細く、柱身の下に(a)を備えている。近世には後者だけが用いられたが、パエストゥム発掘やアテネでの実測調査の進展によって古代ギリシア建築の真の姿が明らかとなり、ギリシア風オーダーを用いた(b)主義建築が出現する。(c)はその傾向とマニエリスム様式を巧みに融合した。 a) b) c)